

感染症対策を踏まえた避難の5つのポイント

風水害編

△ 新型コロナウイルスが終息しなくても災害は待ってくれません △

～ 避難とは「難」を「避」けることです！ ～



1 避難が必要か、防災マップで確認

- ・安全な所にいる人まで避難場所へ行く必要はありません
- ・自宅の場所に色（浸水想定区域や土砂災害警戒区域）が付いていますか？
- ・浸水深を確認し、浸水する深さよりも高い屋内の2階以上に避難する（垂直避難）なども検討しましょう

※色が付いていなくても、周囲より低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、状況に応じて避難を検討してください



2 家庭の備蓄を万全に！

- ・安全な所にお住まいの方も、風雨による災害の危険がなくなるまで、**自宅で安全確保**ができるよう、食料や日用品、携帯トイレなどの備蓄をしておきましょう



自宅外へ避難が必要な方は...

避難場所へ行くことだけが避難ではありません！

3 安全が確保できる親戚や知人宅への避難も検討



4 避難場所には食料などだけでなく、マスクや消毒液などの感染防止グッズや体温計、防寒着※なども持参 ※避難場所等では定期的に換気を行うため



5 避難場所では、マスクを正しく着用し、密集・密接を避け、清掃などの運営にご協力をお願いします



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう！